

## ワークショップ：共同リポジトリの活用：情報発信を病院図書室と共に －「リポジトリいつやるの?」「今でしょ!」－

7月7日(日)10:30~11:50

昨年度の MIS29 では、DRF（デジタルリポジトリ連合）のワークショップとして「リポジトリで発信する医療情報－病院図書館との連携－」と題し、共同リポジトリを含む機関リポジトリの紹介や事例報告、そして参加者の皆様と意見交換を行いました。

今回のワークショップでは、「共同リポジトリ」に内容を絞り、第1部では、その内容、現状、そして既参加機関・団体からの報告等を行います。第2部では、医療情報を発信する意義について参加者の皆様と意見交換を行います。短い時間ではありますが、共同リポジトリへの理解を深め、自身の所属される機関・団体での導入を検討する機会になれば幸いです。

### 【プログラム】

#### 第1部（10:30~11:20）

- 「共同リポジトリの概要と現況」  
尾崎文代（広島大学図書館学術情報企画グループ主査）
- 「共同リポジトリ事例Ⅰ：広島県大学共同リポジトリ（HARP）参加機関より」  
渡辺さゆり（日本赤十字広島看護大学）
- 「共同リポジトリ事例Ⅱ：沖縄地域学リポジトリ（ORION）参加機関より」  
古謝久美子（琉球大学附属図書館情報サービス課医学情報係長）
- 「医学情報と共同リポジトリ：続・病院誌、看護研究誌の必要性」  
和田崇（奈良県立医科大学附属図書館）

#### 第2部（11:20~11:45）

- パネルディスカッション「医療情報を発信する意義 医療情報の OA」  
尾崎文代（司会）  
パネリスト：渡辺さゆり、和田崇、古謝久美子、濱元ゆかり（沖縄協同病院図書室）

- 全体質疑(11:45~11:50)